

用途別の課題の整理

- 第1回ワークショップで皆様からいただいたご意見を8つの視点で整理し、まちづくりや公共施設全般に関わる課題と、個別の用途ごとに関わる課題に分けてまとめました。

1. まちづくりや公共施設全般の課題

- まちづくりや公共施設全般に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る (拠点づくり、魅力づくり)	<ul style="list-style-type: none"> ● 中山間地域で住み続けられるような生活サポートが不足している。 ● 地区によっては人口が減少や高齢化が進んでいる。 ● 伝統文化がなく、祭りの担い手が減少している。 ● 交通アクセスがよい多世代交流ができる施設がない。
アクセス性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内で交通利便性に差があり、生活圏が異なる。 ● 高齢者の移動手段の利便性が低い。 ● 公共交通のルートと住宅密集地にずれがある。 ● 公共施設までの交通手段が十分に確保されていない。
子育て環境を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの数が減っている。 ● 子どもを安心して育てられる環境が整っていない。
学校教育環境を適正化する	(該当意見なし)
安全性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ● (施設を縮減した場合) 徒歩でいける避難所が不足する可能性がある。
将来負担を縮減する	<ul style="list-style-type: none"> ● 類似の機能を持つ施設がある。
必要機能を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の機能が利用者のニーズにあっていない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用率が低い施設が多い。 ● 利用率を上げるための工夫がされていない。

2. 市民文化系施設（集会施設）

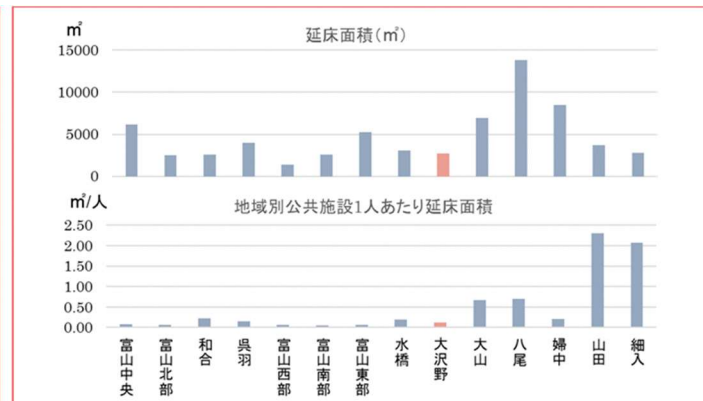
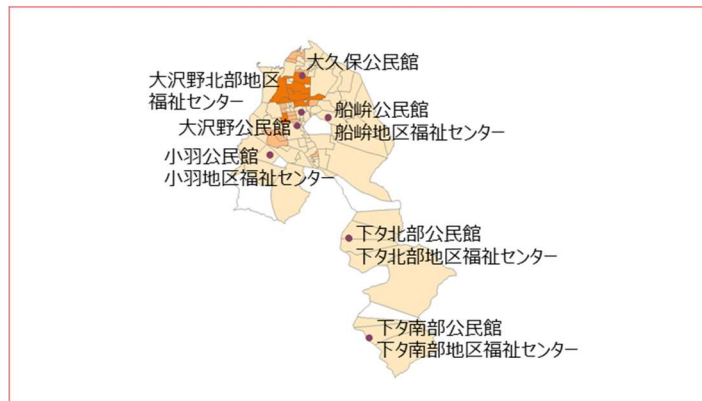
（1）課題

- 市民文化系施設のうち、集会施設に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	● （規模を縮小した場合）地区の住民が交流する場が不足するのではないかと。
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	● （規模を縮小した場合）避難所としての機能が不足するのではないかと。 ● 現状でも、一部の地域で地区住民全員が避難できる規模となっていない。
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	（用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- 集会施設は11施設あり、地域全体に分布しています。公民館と地区福祉センターで機能の重複が見られます。
- 築40年以上が経過している施設は4施設あり、老朽化が進んでいる施設もあります。
- 稼働率はすべての施設で富山市平均より低く、10%未満であり利用が少ない状況となっています。



分類	施設名	延床面積 (m ²)	築年数 (平成30年度)	稼働率 (%)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
公民館	大沢野公民館	107.25	29	3.6	1,402	—	●
公民館	大久保公民館	168.20	16	5.2	1,240	●	●
公民館	船峯公民館	331.20	43	3.9	2,087	●	●
公民館	小羽公民館	331.20	42	2.3	1,462	●	●
公民館	下夕北部公民館	331.20	41	4.7	2,119	●	●
公民館	下夕南部公民館	397.20	40	4.3	2,360	●	●
その他集会施設	船峯地区福祉センター	296.60	23	1.7	1,107	●	●
その他集会施設	小羽地区福祉センター	217.63	22	3.7	1,215	●	●
その他集会施設	下夕南部地区福祉センター	157.90	21	2.1	458	●	●
その他集会施設	下夕北部地区福祉センター	216.22	20	4.2	735	●	●
その他集会施設	大沢野北部地区福祉センター	171.78	15	6.3	956	●	●
富山市平均		633.77	—	15.5	—	—	—

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
集会施設	公民館	<p>① 将来にわたって利用率等の改善が見込まれないことが予想される施設は、公民館等の連携を念頭に置き、住民にとって利用しやすい施設として、小学校区に1か所の配置を目指し、集約を図る。</p> <p>② 小学校区に変更があった場合、既存の利用者に配慮し、10年間の経過措置を設ける。</p> <p>③ 児童生徒が減少している一定以上の規模をもつ学校において、余裕教室や敷地の一部を活用して集会施設を移転整備するなど、小中学校との複合化・多機能化を検討する。学校内部の特別教室（音楽室・調理室等）や図書館の地域開放も検討する。不特定多数の方が校舎内に入出入りする際には、安全性の確保、教育への支障排除について十分な措置を行う。</p> <p>④ 新耐震基準を満たしておらず耐震化することが求められている施設、利用に著しい支障をきたしている箇所について、集会施設全体で群として優先順位を定めた上で、改修や改築を進めていく。また、他の施設との公平性や維持管理費の観点から過剰と思われる規模、仕様、設備等となっている場合は、改修の際などにそのあり方の見直しを行う。</p>
	その他集会施設	<p>⑤ 公民館の改築・新築にあたっては、人口規模に応じた建設規模基準を設けている。この基準を超えた規模の公民館を設置する要望等がある場合には、社会教育委員の審議を経て、公民館の規模を決定する。</p> <p>⑥ 中山間地域など人口減少が著しい地域における公民館等の改築に際しては、空き家等の借上げ方式を検討する。</p> <p>⑦ 利用者の利便性向上に向け、地域で運営することにより、地域コミュニティとより密接な連携が図れると考えられる場合は、地元団体への管理運営委託等、運営体制の見直しを行う。</p>

3. 市民文化系施設（ホール）

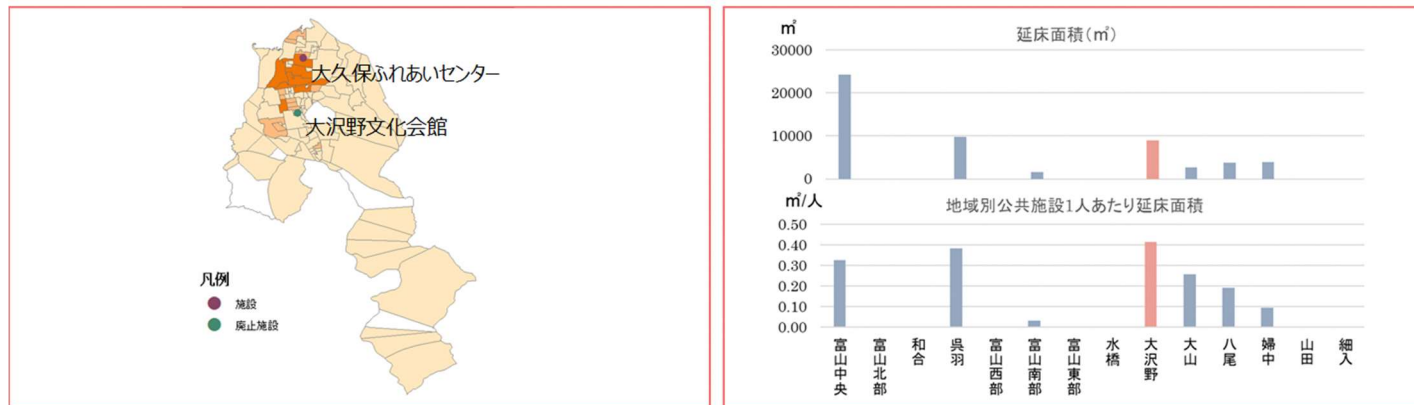
（1）課題

- 市民文化系施設のうち、文化施設（ホール）に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	（用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	● 子ども達が集いやすいスペースとなっておらず、利用しにくい。
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	● 成人式や小学校の合同発表会を開催できるスペースがない。
その他	● 廃止された大沢野文化会館が建て替えになるのか、複合施設の中に入るのかなど、今後の方針が不明。

（2）公共施設の状態

- 文化施設は、大沢野文化会館と大久保ふれあいセンターの2施設であり、富山市内の他地域と比較して延床面積が大きいですが、大沢野文化会館はすでに廃止されています。
- 大久保ふれあいセンターの稼働率は富山市平均と比較して高くなっています。



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	稼働率 (%)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
ホール	大沢野文化会館	6,724.80	39	—	—	—	●
ホール	大久保ふれあいセンター	2,213.78	16	25.9	29,769	●	●
富山市平均		7,205.56	—	22.4	—	—	—

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
文化施設	ホール	<p>① 富山市芸術文化ホールは、今後も市の中核的な文化施設としての役割を果たしていくため、存続させることとする。あわせて定員に対する稼働率を高める工夫を行う。</p> <p>② 大沢野文化会館は、平成28年度末に廃止し、隣接の「大沢野生涯学習センター」や「大久保ふれあいセンター」を代替施設として利用する。</p> <p>③ 大山文化会館は、施設の老朽化や耐震性の不足、利用率の低さなどから、平成30年度末でホール棟は使用を廃止（図書館棟は使用を継続）することとしている。小規模な行事については近隣の代替施設を活用し、入場者の多い演奏会等については、市内の他のホールを活用する方針である。ホール棟は廃止前に大規模な修繕等が必要となった場合には、休止することもあり得るが、それまでの間は事業を継続する。</p>
	その他文化施設	<p>④ その他のホールは、その将来的な存続や規模のあり方について、地域のなかでの役割、周辺の類似施設との連携等の視点から検討していくこととするが、稼働率の低下している施設は、廃止や民間への譲渡も視野に入れて検討を行う。</p> <p>⑤ 継続して保有する施設については、中長期的な改修計画に基づき、施設及び各種設備の劣化状況や利用頻度等も勘案し、適時適切な施設改修・設備更新を実施する。特に舞台照明や音響機器など大きな費用を要する改修については、その費用対効果を慎重に検討して実施する。</p> <p>⑥ 演劇・能・茶道など特定の活動を行うことを主目的とする空間であっても、利用されていない時間帯などに、集会やイベントなど当該目的以外の活動も許可するなど、施設の稼働率の向上を図る工夫を行う。</p>

4. 市民文化系施設（社会教育系）

（1）課題

- 市民文化系施設のうち、図書館に関する課題を整理しました。

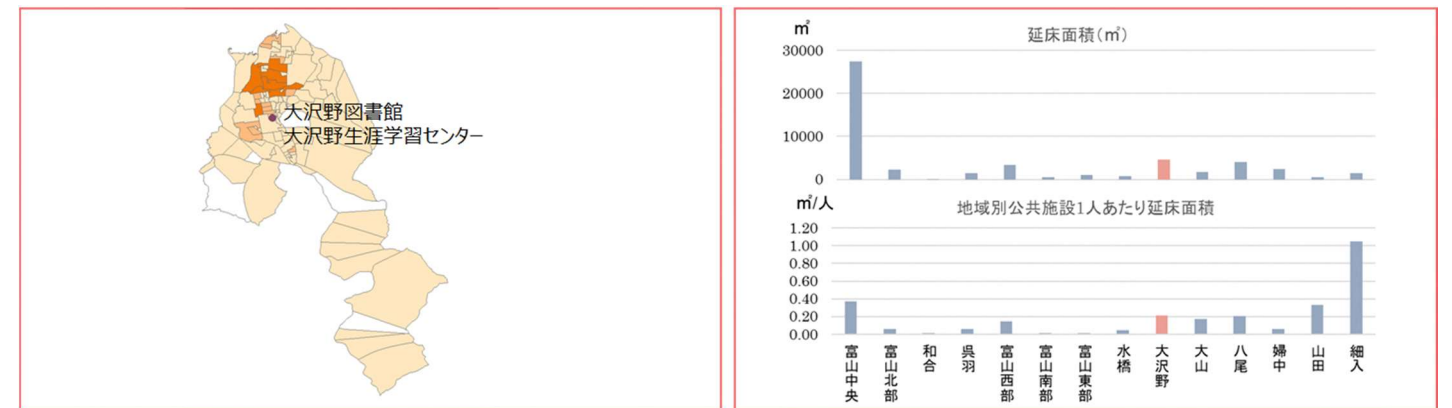
視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	（用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	● 学区によっては(子ども達が)自転車で行くことができないため、送迎が必要であり利用しにくい。
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	（用途特有の意見なし）

- 市民文化系施設のうち、社会教育センターに関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	● （用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	● （用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	● （用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	● （用途特有の意見なし）
安全性を確保する	● （用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	● （用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	● （用途特有の意見なし）
その他	● （用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- 大沢野図書館と大沢野生涯学習センターは複合施設であり、周辺には大沢野行政サービスセンターが立地しています。
- 年間利用人数は富山市平均と比較して高くなっています。



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
図書館	大沢野図書館	1,042.00	29	42,213	—	●
	富山市平均	655.74	—	28,416	—	—
社会教育センター	大沢野生涯学習センター	3,517.53	29	26,082	—	●
	富山市平均	1,812.20	—	13,220	—	—

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
図書館	図書館	① 本館、とやま駅南図書館、こども図書館については、図書事業の中核拠点として引き続き運営を継続する。
		② 地域館・分館の将来的な存続や規模のあり方については、利用度並びに地域バランス、地区センターや公民館、コミュニティセンター、学校図書館等との連携等を踏まえ、適正配置に向けて検討するとともに、併設施設との関係性も考慮しながら、廃止や統合も視野に入れた見直しを行う。
		③ 存続することとなった図書館は、入居している地区センターや公民館等の改修計画に基づき、適時適切な施設改修・設備更新を実施する。
社会教育センター	社会教育センター	① 利用率を高めるための改善を行うが、将来にわたって改善が見込まれないことが予想される場合、また、市や民間の施設で機能を代替できると判断された場合は、あり方についての見直しを行う。
		② 利用者の安全性確保や長寿命化のための改修は計画的に実施していくこととする。

5. スポーツ・レクリエーション系施設（スポーツ施設）

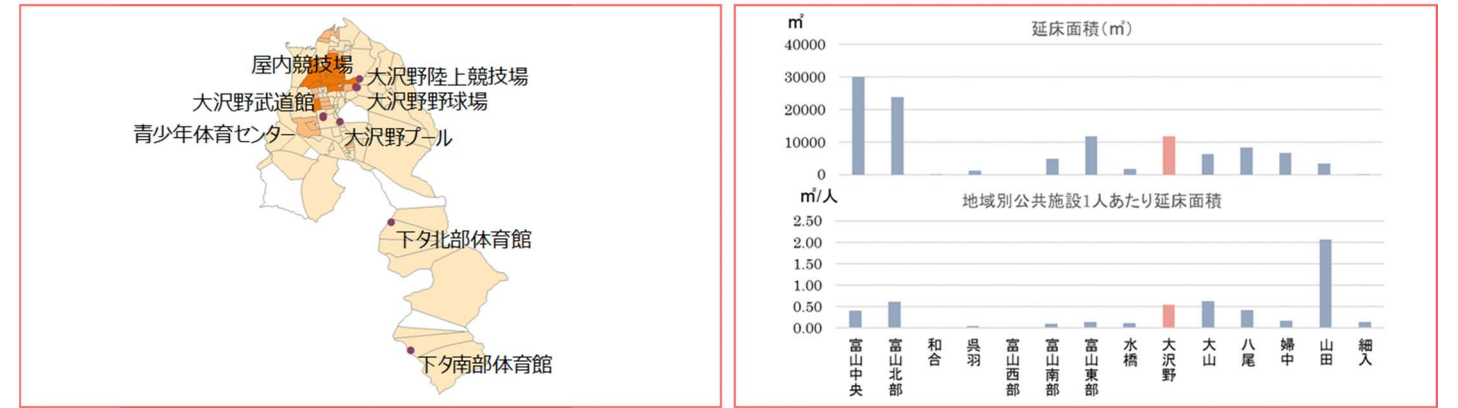
（1）課題

- スポーツ・レクリエーション系施設のうち、スポーツ施設に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	（用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	● 室内で子ども達が気軽に遊んだり、運動したりできる場が必要だが、現在のスポーツ施設はそのような利用をされていない。
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	● 下夕の北部と南部体育館は耐震性に問題がある。 ● 下夕の北部と南部体育館は稼働率が低い。 ● 武道館は老朽化が進んでいる。 ● （廃止された場合）避難所としての機能が不足する。
将来負担を縮減する	● 類似機能があるので、新たにスポーツ機能を確保した場合、古い施設は不要になる。
必要機能を確保する	● （武道館が廃止された場合）現在の利用者の活動の場がなくなる。
その他	（用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- 大沢野地域には体育館 4 施設、プール 1 施設、武道館 1 施設、野球場 1 施設、陸上競技場 1 施設が立地しています。
- 築 30 年以上経過している施設が 5 施設あり、利用人数が非常に少ない施設もあります。



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
体育館	青少年体育センター	973.00	45	9,385	●	●
体育館	下夕南部体育館	384.00	37	1,119	●	●
体育館	下夕北部体育館	483.55	36	277	●	●
体育館	屋内競技場	8,278.98	8	91,824	-	●
富山市平均		3,931.02	-	57,356	-	-
プール	大沢野プール管理棟	218.40	26	-	-	●
富山市平均		1,261.08	-	-	-	-
武道館	大沢野武道館	468.00	43	4,004	●	●
富山市平均		814.27	-	10,683	-	-
野球場	大沢野野球場管理棟	220.00	25	9,115	●	●
富山市平均		9,634.33	-	66,038	-	-
陸上競技場	陸上競技場管理棟	752.00	32	12,564	●	●
富山市平均		752.00	-	12,564	-	-

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
スポーツ施設	体育館	① 利用率の低い施設は改善を行いつつ、将来にわたって改善が見込まれないことが予想される施設については、廃止・統合を行う。
	プール	② 特に、体育館については、(1)市内全域を対象とし、大規模なスポーツ大会やイベント等が実施できる施設 (2)複数地域を対象とし、スポーツ大会が実施できる施設 (3)地域を対象とし、サークルスポーツ活動が実施できる施設 の3層構造に再編するとともに、(1)と(2)については、引き続き市所有として存続させ、(3)については、老朽化にあわせて、そのあり方についての見直しを行う。
	武道館	
	野球場	
	陸上競技場	③ 民間で実施することができる施設や機能については、原則廃止することとし、施設については、民間へ譲渡する。
	運動広場	④ 利用形態や利用頻度を勘案し、改修等の優先順位付けを行い、中長期的な改修計画を策定するとともに、利用者の安全性と利便等を考慮した適切な施設改修・設備更新を実施する。
		⑤ 利用者の利便性向上に向け、予約方法や利用料金等の運営体制の見直しについて検討を行う。

6. スポーツ・レクリエーション系施設（観光施設・宿泊入浴施設）

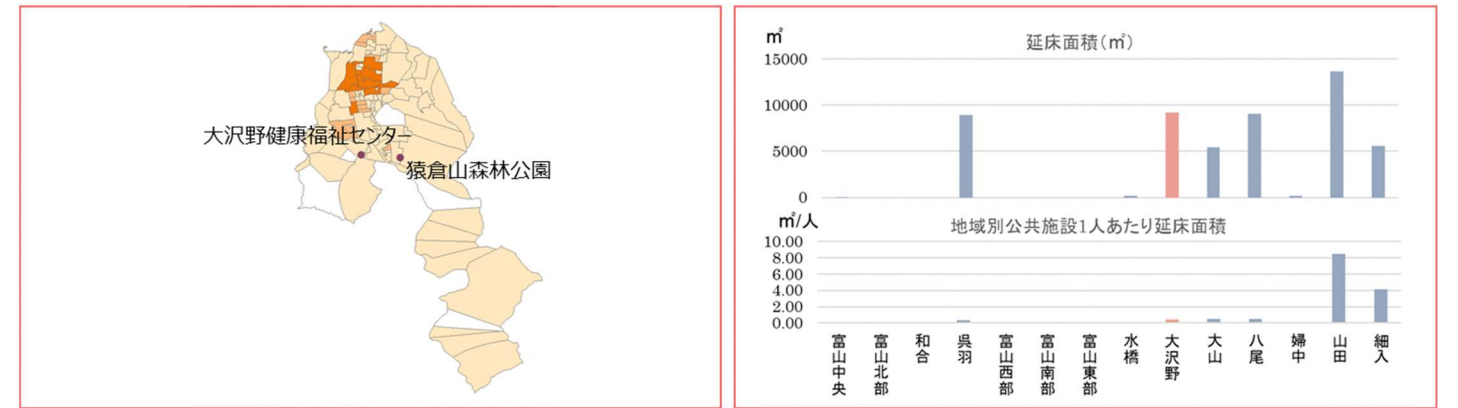
（1）課題

- スポーツ・レクリエーション系施設のうち、観光施設・宿泊入浴施設に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	（用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	（用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- レクリエーション・観光施設は2施設あります。
- 築30年以上が経過しており、猿倉森林公園は利用人数が少ないです。
- 大沢野健康福祉センターは、利用人数が非常に多くなっています。



分類	施設名	延床面積 (m ²)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
観光施設	猿倉山森林公園	816.05	32	15,652	●	●
	富山市平均	1,075.79	—	49,577	—	—
宿泊・入浴施設	大沢野健康福祉センター	8,383.61	22	313,754	●	●
	富山市平均	3,436.99	—	86,670	—	—

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
レクリエーション・観光施設	観光施設	① 収益性が高く、行政が運営をしなくても支障のない施設については、民間に事業移管することを検討する。
		② 観光施設は、他の分野に比べ、民間事業者が参入しやすい分野であり、民間に積極的に事業移管を行う。なお、民間への事業移管が困難な施設のうち、行政目的の高い施設は、運営の効率化を進め、引き続き維持していく。それ以外の施設については廃止を推進する。
		③ 宿泊・入浴施設は、民間への事業移管が困難なものは廃止する。廃止の際には民間類似施設の利用補助を行うなど代替手段を検討する。
	宿泊・入浴施設	④ 利用者の安全性の確保のための改修は実施していくが、利用者の利便性や機能性を向上させるための改修については、利用ニーズを見定めた上で費用対効果の高いものを中心に実施していく。
		⑤ 利用者の利便性向上に向け、条例等の改正を行い、利用料金や利用時間の弾力化を行うとともに、民間のノウハウや経営手法を活用できるように運営体制の見直しの検討をする。民間運営が可能な施設については、民間への事業移管を積極的に推進する。
		⑥ 健康増進及び介護予防など社会的に今後重要となる機能を強化し、レクリエーション機能の縮小を図る。

7. 学校教育施設（学校）

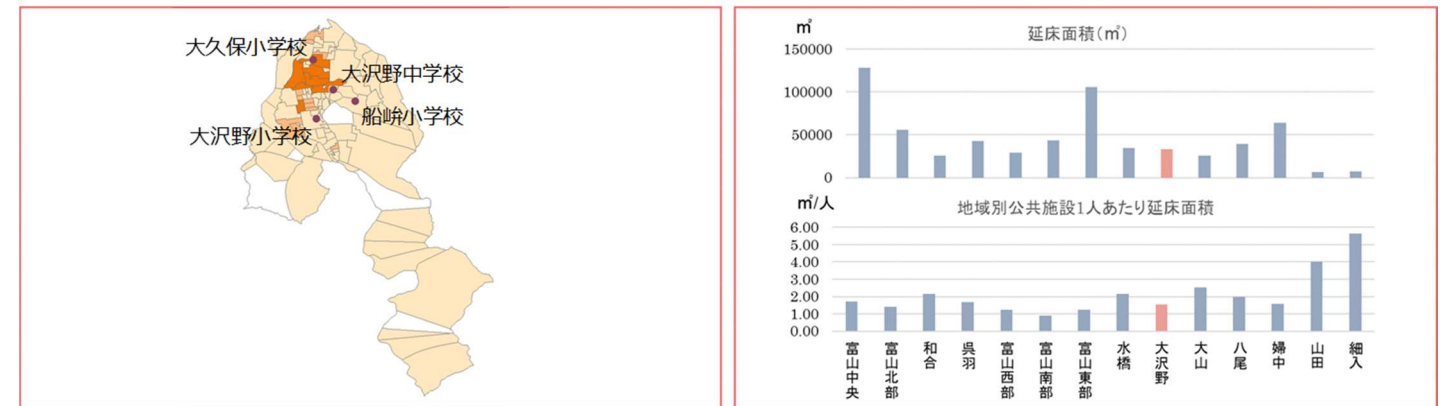
（1）課題

- 小学校・中学校に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	● 空き教室が発生しているが、地域の活性化や多世代交流の場として活用されていない。
アクセス性を確保する	● 小、中学校の駐車場は、（行事の際に）不足しており十分確保されていない。
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	● 児童数が減少している。 ● 少人数教育など多様な教育を選択できる仕組みになっていない。
安全性を確保する	● （統廃合した場合）通学距離が長くなり、通学時の安全性の確保が現在よりしにくくなる。 ● （統廃合した場合）避難所としての機能が不足する。
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	（用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- 大沢野地域には、小学校3校、中学校1校が立地しています。
- 船嶽小学校を除いて築30年以上経過しており、老朽化が進んでいる施設もあります。
- 現在、大沢野地域で複式学級となっている学校はありませんが、児童数が少ない小学校では、今後複式学級が発生する可能性があり、適正な規模のもと教育を受けられる環境を整えることが難しい状況となっています。



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	児童・生徒数 (平成29年5月) (人)	避難所	対象
小学校	大沢野小学校	11,835.78	20	522	●	●
小学校	大久保小学校	6,585.11	61	426	●	●
小学校	船嶽小学校	4,174.16	29	62	●	●
	富山市平均	6,462.71	-	-	-	-
中学校	大沢野中学校	10,876.51	37	579	●	●
	富山市平均	8,095.24	-	-	-	-

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
学校	小学校	① 将来の人口推計からも、面積は維持又は縮小し、適正規模の学校に向け、再編を検討する必要がある。大きく児童生徒数の減少が見込まれる施設については、文部科学省が平成27年1月27日に公表した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえ、再編に取組み、規模の縮小や統合を積極的に進めることとする。
		② 児童生徒数の減少やスペースの有効活用により、集会施設等の他用途との複合化・多機能化を検討する。複合化・多機能化にあたっては児童生徒の安全性を確保するとともに、教育活動の支障のない範囲で行うこととする。また地域コミュニティの核としての学校の役割を鑑み、地域の方々の意見もとり入れることとする。
	中学校	③ 安心・安全な教育環境の確保のため、引き続き、施設及び各種設備の劣化状況により適時適切な施設改修・設備更新を実施する。施設の数が多いため、学校別に一律に実施するのではなく、対策が必要な棟について、何棟かまとめて対策別の工事計画を定めることとする。
		④ 耐震化工事を最優先で実施する。老朽化したものについては、大規模改造により長寿命化を図る。改築は基礎の劣化等により、大規模改造が困難な場合のみ行う。

8. 子育て支援施設（幼保・こども園）

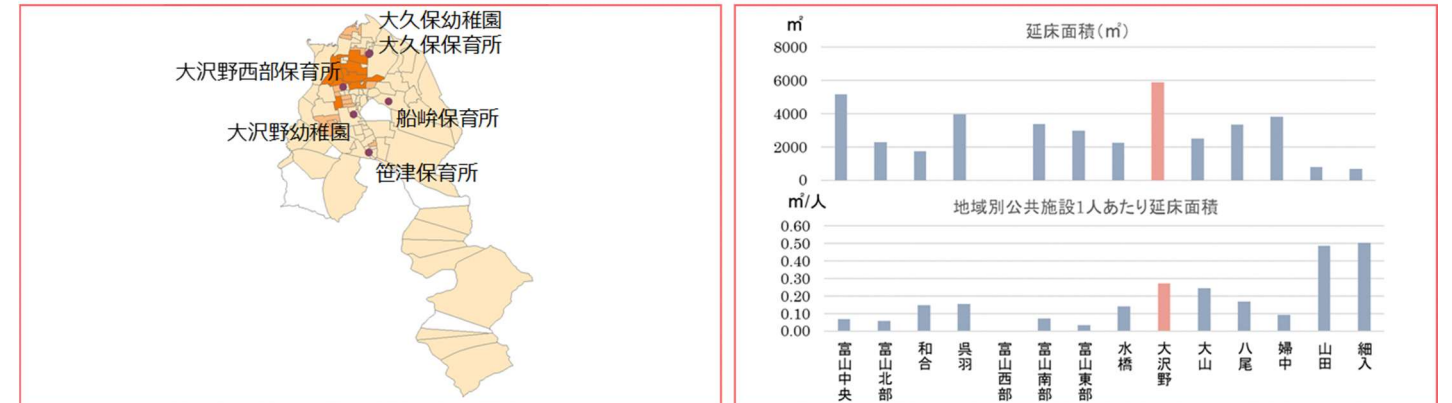
（1）課題

- 子育て支援施設のうち、保育所・幼稚園・こども園に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	（用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの数が減少している。 ● 子どもを安心して育てられる環境が整っていない
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	（用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- 大沢野地域には保育所が4箇所、幼稚園が2園ありますが、いずれも大沢野地域の北部に立地しています。
- 築30年以上経過した施設が4施設あり、老朽化が進んでいる施設もあります。
- 1人あたりの延床面積は他地域と比較して3番目に多く、子どもの数の減少も相まって、今後施設によっては空き室が発生してくる可能性もあります。



分類	施設名	延床面積 (m ²)	築年数 (平成30年度)	避難所	対象
保育所	笹津保育所	830.18	48	—	●
保育所	大沢野西部保育所	677.23	41	—	●
保育所	船嶺保育所	679.80	39	—	●
保育所	大久保保育所	1,292.99	18	—	●
	富山市平均	701.39	—	—	—
幼稚園	大沢野幼稚園	980.28	42	—	●
幼稚園	大久保幼稚園	1,432.09	15	—	●
	富山市平均	746.73	—	—	—

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）	
中分類	小分類		
幼保・こども園	保育所	①	保育の効率的なサービス提供のため、中長期的な入所児童数の見込の把握に努め、ニーズの高い地域では、改築等の際に定員増を図る一方、地域によっては、保育所の統廃合を検討していく必要がある。また、引き続き、民営化を進めていく。
	幼稚園	②	幼稚園については、私立幼稚園の配置状況や定員状況を勘案しながら、ニーズを踏まえ、統合を進めていく。
	認定こども園	③	入所希望児童が増加傾向にある地域や施設については、改築・改修時に定員数を増やしていく。

9. 子育て支援施設（幼児・児童施設）

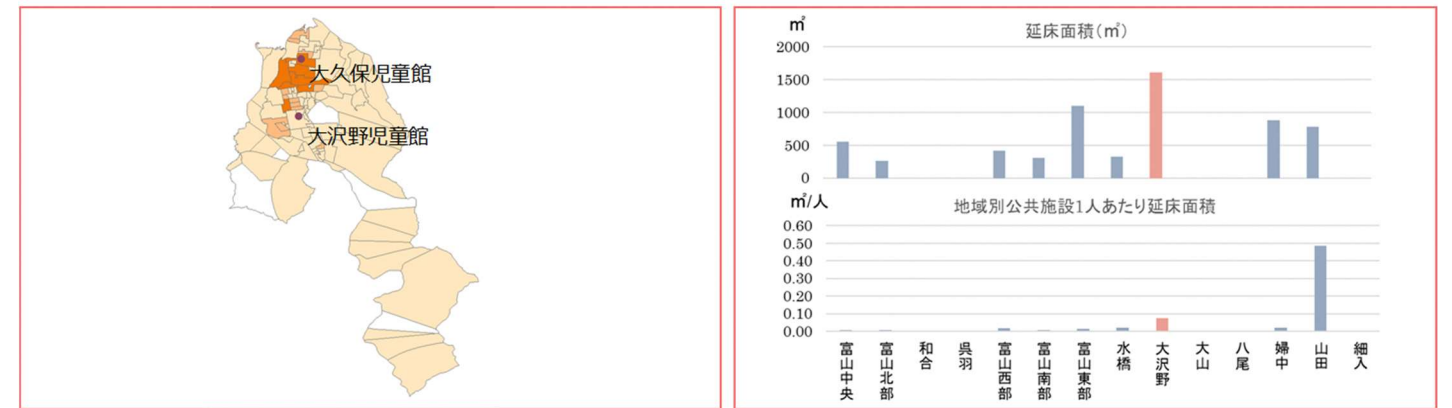
（1）課題

- 子育て支援施設のうち、児童館に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	（用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ● 学童に入れない子どもや学童を終えた高学年の子どもが、長期休み期間中や放課後に過ごせる場がない。 ● 小学生が放課後や休日に集う場、遊ぶ場が小学校区ごとに配置されていない。
学校教育環境を適正化する	● 駐車場が狭くて迎えの際に待ち合わせができない。
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	（用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- 大沢野地域には、児童館が2施設設置されており、いずれも大沢野地域の北部に立地しています。
- 比較的新しい施設で、利用人数は富山市平均と比較して多くなっています。



分類	施設名	延床面積 (m ²)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
児童館	大沢野児童館	869.54	12	37,275	—	●
児童館	大久保児童館	739.88	16	53,102	—	●
富山市平均		518.85	—	33,781	—	—

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）	
中分類	小分類		
幼児・児童施設	児童館	①	児童館については、利用圏域などを踏まえると、現在の施設数は維持することが必要と考えられるが、利用者数等を勘案し、各施設の面積は維持又は縮小し、効率化を図る。

10. 保健・福祉施設（高齢者福祉施設）

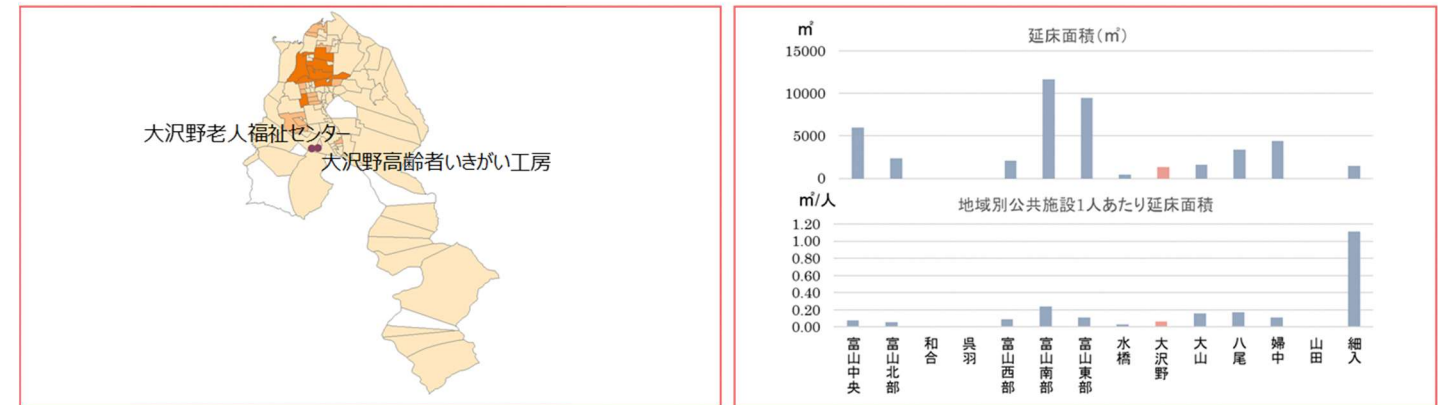
（1）課題

- 高齢者福祉施設に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	（用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	（用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- 保健・福祉施設として、老人福祉センターと高齢者いきがい工房があります。
- 老人福祉センターの利用人数は、富山市平均と比較して非常に多くなっています。一方、高齢者いきがい工房は利用人数が少ない状況となっています。



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
老人福祉センター	大沢野老人福祉センター	619.71	22	45,961	●	●
老人福祉センター	大沢野高齢者いきがい工房	721.04	17	7,401	—	●
富山市平均		848.16	—	26,900	—	—

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）	
中分類	小分類		
高齢者福祉施設	老人福祉センター	①	老人福祉センター等は、当面は高齢者人口の増加が見込まれるが、平成50年代前半をピークに、高齢者人口も減少に転じることが予想されていることや、高齢者のニーズも多様化してきていることなどを踏まえ、施設の更新は行わないこととする
	高齢者福祉施設	②	施設の見直し方針の検討中は、利用者の安全性と利便等を考慮した範囲内で、適時適切な施設改修・設備更新を実施する。
		③	利用者の利便性向上に向け、運営体制の見直しを検討するとともに、民間のノウハウを活用しながら、サービス水準の向上や、運営の効率化を図る。

1.1. 行政系施設（庁舎等）

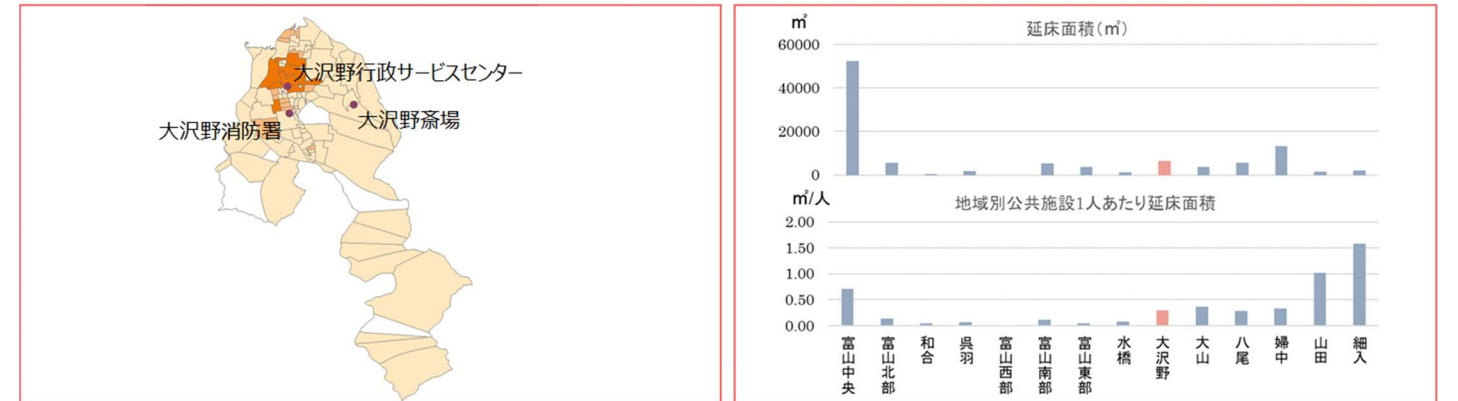
（1）課題

- 庁舎等に関する課題を整理しました。

視点	第1回ワークショップで出された課題
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	（用途特有の意見なし）
アクセス性を確保する	（用途特有の意見なし）
子育て環境を充実させる	（用途特有の意見なし）
学校教育環境を適正化する	（用途特有の意見なし）
安全性を確保する	（用途特有の意見なし）
将来負担を縮減する	（用途特有の意見なし）
必要機能を確保する	（用途特有の意見なし）
その他	（用途特有の意見なし）

（2）公共施設の状況

- 行政サービスセンターは築45年経過しており、老朽化が進んでいます。



分類	施設名	延床面積 (m ²)	築年数 (平成30年度)	避難所	対象
支所	大沢野行政サービスセンター	4,450.88	45	—	●
	富山市平均	3,443.01	—	—	—
消防署	大沢野消防署	1,194.55	41	—	—
	富山市平均	1,848.59	—	—	—
環境関連施設	大沢野斎場	772.91	33	—	—
	富山市平均	1,396.68	—	—	—

（3）施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（富山市公共施設等総合管理計画から抜粋）

施設分類		施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（方向性）
中分類	小分類	
庁舎等	本庁舎	① 本庁舎については、適切な改修を実施し、存続させる。
	支所	② 行政サービスセンター、中核型地区センターは、もともと合併前の旧町村の本庁舎として利用されていた建物であり、比較的大きな施設である。合併後の組織体制変更に伴い建物のスペースに余剰が発生しているものがあることや施設自体の老朽化が進んでいることから、将来的には、適正な規模の建物へと面積の縮減を図るとともに、市民の利便性を向上させるよう複合化を図る。
	事務所	